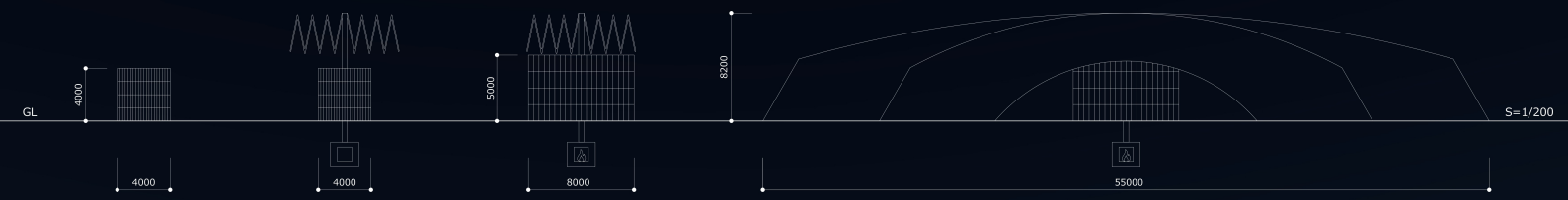
Starting With Fungus -菌から始まる-

ー地球の生命は、微生物、いわゆる“菌”から始めています。月の第一歩にも、菌から始まるー

-Deployment-



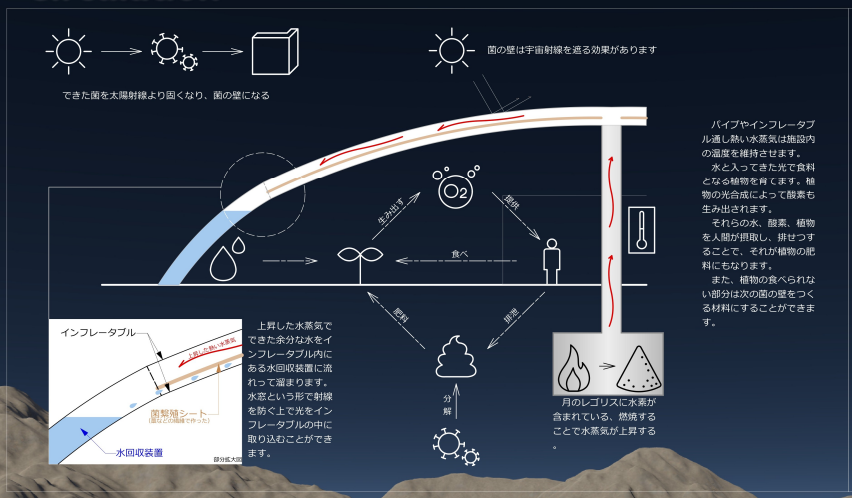
・まず、筒状で月面に着陸します。

・筒の中を貫通するようにパイプが上から出てきます、その先にインフレータブルが繋がっています。

・次に、折り紙のように折りたたまれた構造部が展開し、直径8m、高さ5m大きさの生活空間になります。

・筒の下に火がつきます。月のレゴリスを燃やすことで酸素が得られます。
・パイプを通って温かい空気が上昇し、インフレータブルの中に送り込まれ、インフレータブルが広がります。

-Circulation-



-Concept-

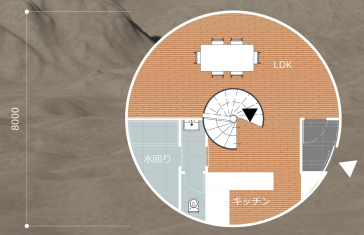
月面のファーストプレイスとして、菌で循環する居住空間を提案する。人間が生命を維持するためには地球と同じ、又は似た環境が必要になるが、月面には資源が少ない。そこで、月面で資源をつくり出すことを考えた。地球から持ち込んだ少ない物質を月面で循環させる。その過程に人間の生命維持に欠かせない空気や水、食料となる植物を作り出す。この仕組みのカギとなるのが「菌」である。

菌は宇宙空間でも繁殖することが確認されているので、簡単に増やすことができる。菌をつかった壁を月面でつくり、その中で人間が生活することを考えた。菌の壁を作るにあたって必要なものは、水と温度である。これらは人間にも必要なものだ。さらに、人間の食料となる植物にも関係してくる。こうして連想ゲームのように、人間の生活と菌の壁の仕組みと必要な資源を組み合わせて、サイクルをつくっていく。

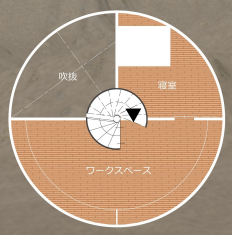
又、月面居住の第一歩目の施設とは何かと考えたとき、一人暮らしが一番近いと思う。一人の生活に最低限必要な設備が整った部屋で暮らす、といったイメージだ。月面でも居住の第一歩を「一人暮らし」の施設とし、地球での一人暮らしに必要なものに加えて月面で必要になるものを考える。

菌を中心に循環する一人暮らしの施設を新しいファーストプレイスとして提案する

全体平面図 S=1/500



展開後居住1F平面図 S=1/100



展開後居住2F平面図 S=1/100